

# 米軍訓練区域「チャーリー区域」の 形状変更について

令和元年 5 月 17 日  
防 衛 省

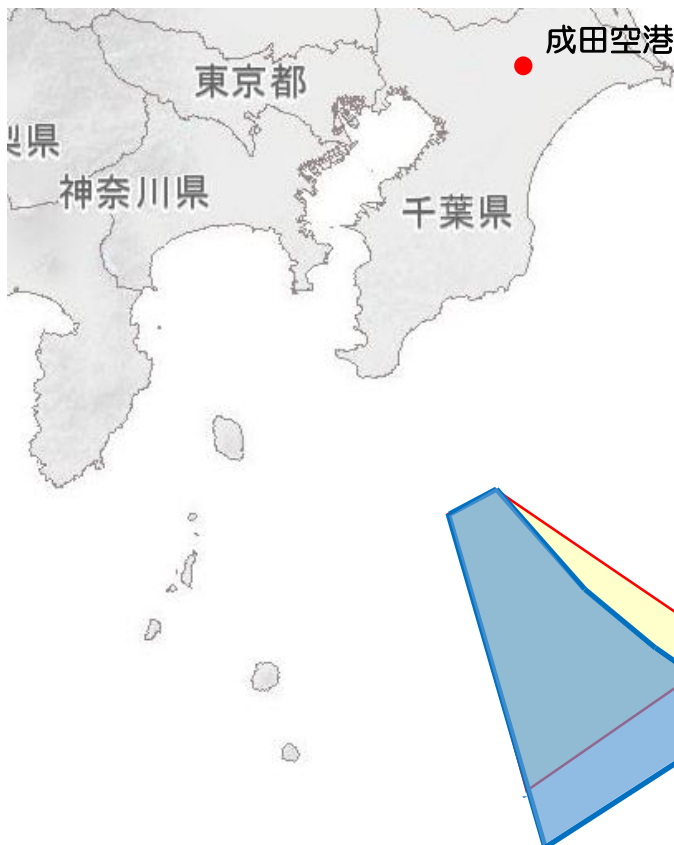
## 概 要

- 本日（5 月 1 7 日）の日米合同委員会において、千葉県沖の領海外（排他的経済水域）に所在し、空域と水域からなる米軍訓練区域「チャーリー区域」の形状を下図のとおり変更することについて、合意されました。
- 本件は、訪日外国人旅行者数を2020年に4000万人等とする目標の達成に向け、首都圏空港の発着枠を増加させる施策の一環として、成田空港を発着する民間航空機の飛行ルート（このルートは、チャーリー区域の上空を通過）を変更することに伴い必要となるものです。チャーリー区域の変更の詳細については、別図をご参照ください。

## 今後の予定

- 変更後のチャーリー区域の空域・水域については、今後、告示等の手続きを経て、本年 7 月 1 8 日から施行される予定です。
- 防衛省は、「漁船操業制限法」(注)に基づき、チャーリー区域の水域における漁船の操業を制限するとともに、これに伴う漁業者の損失を補償しています。今般の変更に伴い、新たに漁業者に損失が生じる場合は、同法に従い、適切に対応して参ります。

注：正式名称は、「日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約に基づき日本国にあるアメリカ合衆国の軍隊の水面の使用に伴う漁船の操業制限等に関する法律」



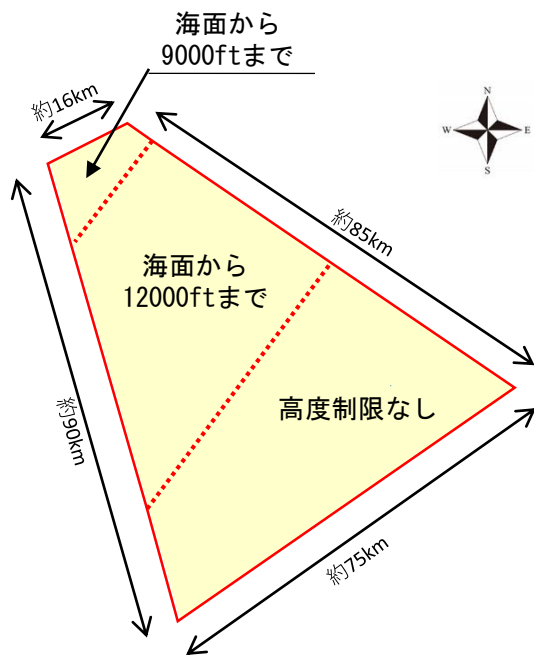
## チャーリー区域

現行の空域・水域

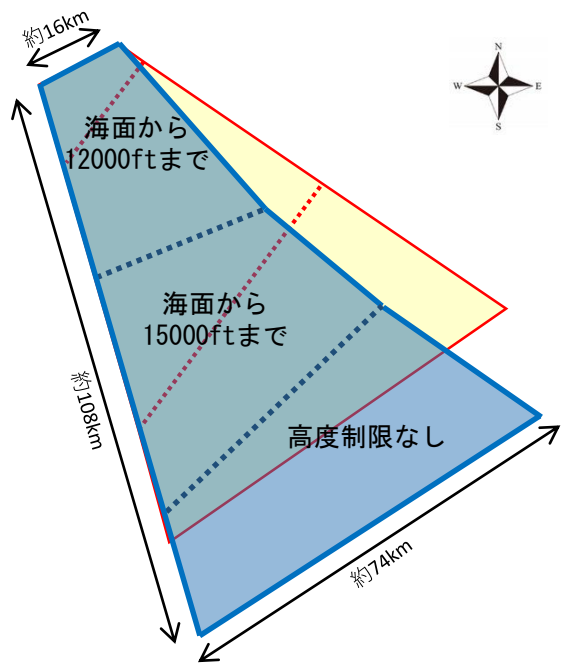
変更後の空域・水域

面積：約 4, 2 0 0 k m<sup>2</sup>  
(変更前：約 3, 7 0 0 k m<sup>2</sup>)

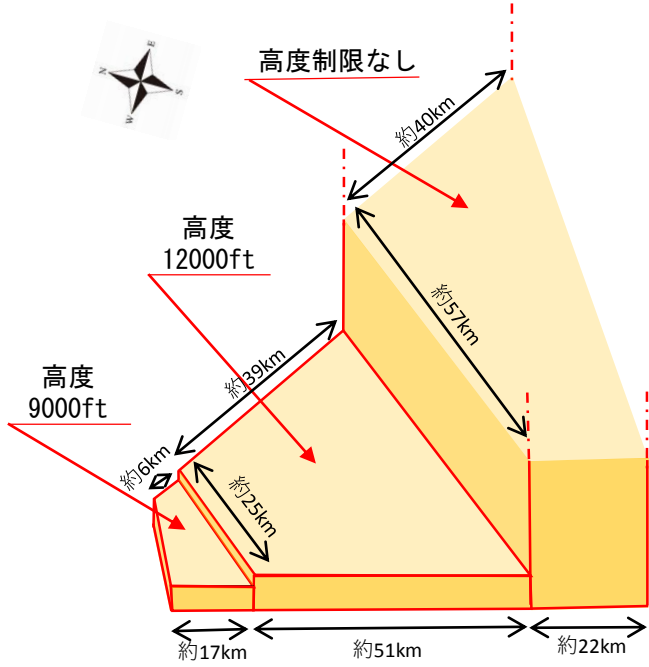
(現在運用している空域・水域)



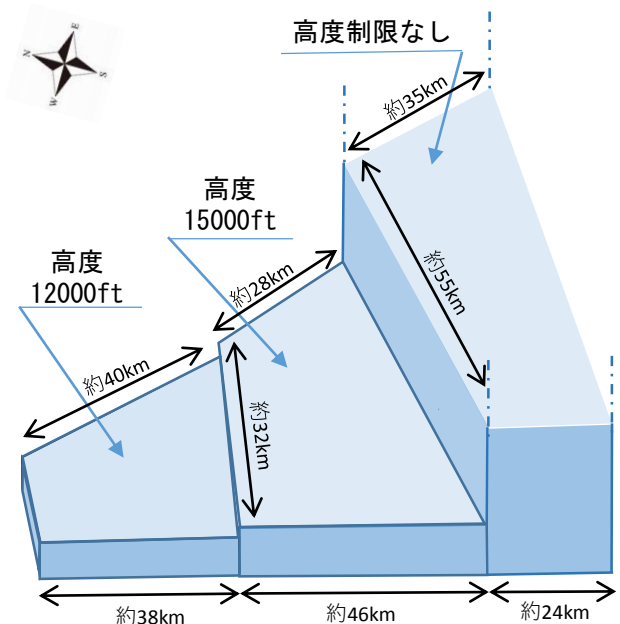
(変更後の空域・水域)



(現在運用している空域)



(変更後の空域)



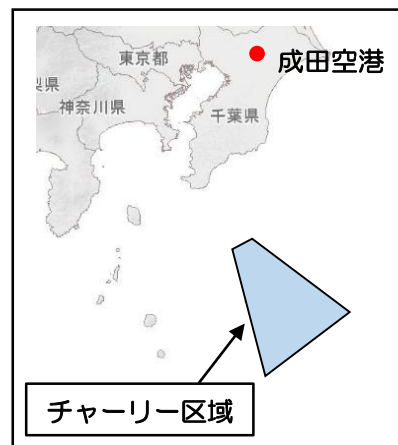
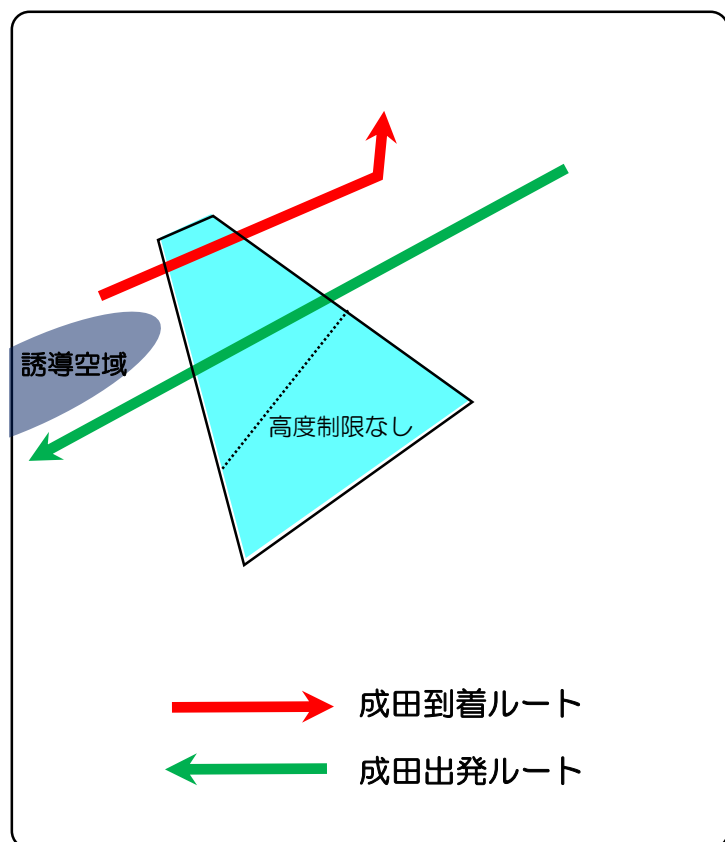
※ この立体図はイメージであり、実際の縮尺とは異なる。

【参考資料】

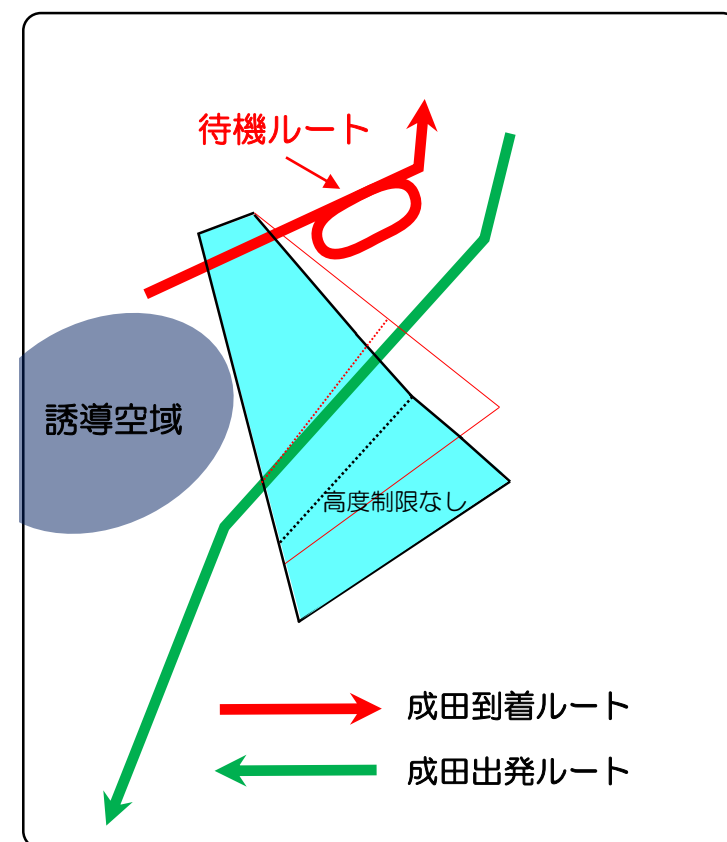
成田空港の年間発着枠を増やすための施策の1つとして、国土交通省は、同空港の南西方面への出発ルート（注）、到着機を誘導するための空域や待機させるためのルートを確認する計画

年間発着枠（現在約30万回）約4万回増加へ

《現在》



《変更後》



（注）出発ルートを南側へ移設するためには、チャーリー区域の高度制限のない空域を南側へ移動させる必要があることから、同区域の形状を変更